

たまき社協だより

2014.11
No.52

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876-1
TEL 0596(58)6915/FAX 0596(58)6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-MAIL tamasya@amigo2.ne.jp

たまきの元気人



ふれあい 胸キュン ダンス

台風19号が近づく10月12日
(日)「第59回町民体育祭」
が行われました。

元気ですたまき委員会では、
3年前よりコミュニケーションショ
ンアップが図れる競技を提案
し、町民体育祭に参加してい
ます。

今年度も、懐かしいフォー
クダンスを取り入れ、みなさ
ん手と手を取り合って、一つ
の輪になって行いました。

曲は、「オクラホマミキサ
ー」と「マイムマイム」です。
「懐かしい」と口々にされる
高齢者から子どもたちまで
様々な世代が参加いただきま
した。

本部席からは、町長はじめ
議員の方々などの飛び入り参
加もあり、笑顔でのふれあいの
一コマになりました。

※この広報は、社協会費と共同募金配分金事業によって発行しております。

社協30周年に寄せて

昭和59年11月15日、社会福祉法人玉城町社会福祉協議会が誕生しました。それから30年、社会状況・地域の状況に合わせた地域福祉事業を展開し、地域に暮らす皆様のほか、民生児童委員をはじめ関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる『ふくしのまちづくり』の実現をめざし活動を進めて参りました。

社協に関係の深い皆さまに30周年に寄せてお声をいただきました。

ごあいさつ



玉城町
社会福祉協議会
会長 辻村修一

玉城町社会福祉協議会は、町民の皆様はじめ、福祉団体、関係機関の御支援をいただき、この程、法人認可設立30周年を迎えることができました。

当協議会は設立以来、地域福祉の中核団体として今日まで発展してこられたのも賛同いただきました会員、各種団体、企業、法人等々の御支援

御協力の賜と深く感謝申し上げます。

時代の福祉ニーズに応え産声を上げて以来、昨今は「元氣バス」に代表されるような先駆的な取り組みが全国の市町村からも注目されるまになりました。社会の変化、個人の意識変化を背景に地域福祉需要もますます増大、多様化する時代でありますだけに連携が大切な時代とも言えます。

今後、地域社会の課題解決や共助の担い手として一層の研鑽を積み、信頼される町の社協を目指していく所存です。

どうぞ、皆様方のお力添えをいただきますようお願いいたします。

これからも今からも



事務局長
西野公啓

法人認可設立以来30周年を迎えることができました。ひとえに当協議会を応援いただいています地域の皆様方、関係団体、諸先輩方の御支援のおかげであると感謝申し上げます。

去ること30年前といいますが、ボランティアという言葉が誕生した頃です。さらに時代は進み介護保険制度ができる前、すでにヘルパー事業など在宅介護サービスも時代に先がけ行い、まさに福祉の担い手役として今日の協議会があります。

「福祉」は幸せをさします。私たち職員は記念すべき30周年の一通過点に立ち、地域の皆様が幸せで有り続けるにはどうすれば良いか課題解決に努めてまいります。今後も職員一同「改革改善」「協働共助」「健全経営」を三つの柱に掲げ、一層の努力を積んでまいります。引き続き御支援いただきますようよろしくお願いいたします。

福祉の支えとして



元民生委員
児童委員
藤川幸子

退職して二年後私は虹の会の活動を通して社協とのつながりができました。その時一人暮らしの老人へ毎月配食される弁当に添える冊子のお便り作りに関わって以来、今もその冊子作りが毎月の私の大事なひとコマになっております。あの頃、社協はお堀端の古い建物で、介護保険制度もない頃の事でした。

そして二年後、蚊野茶屋とピュアタウン地区の民生委員児童委員として更に社協との関りが深まってまいりました。担当地区のご老人や子ども達、いろんな悩みや事情を抱えた人々との目に見えない心のつながりが、年々増してゆきました。それらの活動の支えとなつて下さったのが社協の職員の皆さん方でした。あれこれ何でも相談に窓口や係の方へ押しかけたものです。おかげさまで大過なく務めを終えて、今は福祉協力員として町事業などのお手伝いをさせてもらっております。今後玉城町の「福祉力」向上と、社協の発展を一町民として心より願っております。ごきげんよろしゅう！

玉城町虹の会



玉城町虹の会
岩本秀子

社協法人創立30周年を心からお祝い申し上げます。玉城町虹の会ボランティアは21年目になります。社協のボランティア養成講座で学び、その卒業生が結成致しました。「ボランティア精神」を生かし、皆の幸せの為に、虹のようなかけ橋を作ろうという絆が生まれたのです。会則での目的は「会員の自主性を尊重し、併せてボランティア活動を通じ、相互の連携を密にし、共通の福祉増進に寄与する」ことです。お一人暮らしの方へのお弁当作りもみんなで考え、心の通うお便りを携え配達し、安否を気遣います。笑顔に出会えるとホッと幸せをいただきます。喜んで下さる人達の笑顔が何よりの御褒美です。責任や苦勞もありますが仲間同志で生ききる喜びを語り合える場があること、手をつなげばきつと支えてくれる優しい人達が玉城町にいることを、常に働きかけてくれたのが社協の人達でした。その熱意と誠意に感謝し、これから先も玉城町の誰もが幸せを感じられる町づくりを続けていって欲しいと思います。益々の御発展をお祈りしています。

母子寡婦福祉会の歩み



玉城町
母子寡婦福祉会
高山納子

私達の母子寡婦福祉会は、本年創立65周年を迎えました。ご承知のように戦争によって沢山の尊い命が失われ多くの家庭の家族の形態が一変した中で俗に戦争未亡人と呼ばれた母親たちが自らの自立と子どもの健全育成を理念として立ち上げたのが「未亡人会」でした。その後、「母子寡婦福祉会」と改名されて現在に至っております。本会の活動としては総会を始め研修会、交流会の他に、保健福祉会館内の「喫茶白ゆり」の営業、玉城町の桜まつりと町民体育祭時の売店、これらは活動資金として会員に還元されます。また、ボランティアとして福祉会館の花の植替えや草取りをしております。今日、様々な活動を進めてこれたのは、社協創立当初からお世話になる事務局と、手を携えて、町内母子家庭の支えとしてつながりづくりに努めてきたからです。今後も、当会をご教導くださいますとともに、社会福祉協議会のご活躍とご発展をお祈りいたします。

社協とともに



職員
西村祐子

社協は、福祉活動を推進する営利を目的としない民間の組織です。玉城町では昭和59年法人化し、それまで役場職員が担当していたホームヘルパー事業、福祉団体の支援、募金活動などの業務を引き継ぎ、地域の中できめ細やかな福祉に取り組んできました。平成に入り高齢化が進む中、高齢者の支援策から始まったボランティア養成講座には、大勢の受講生が関心を寄せ、現在のボランティア活動（給食サービスなど）の礎となっています。そして、小中学校の福祉教育においては当時の小学生が今、福祉に関わる仕事に就いていることに福祉の芽がすくすく育ち開花してくれたことを頼もしく感じています。時代が変わり人が変わり求められるものが変わっても、挨拶が飛び交い笑顔溢れる町で暮らしていくには、自分たちが町を良くし、進めていくことが大切ではないでしょうか。

ほんとうに様々な方々が関わり、30年の歴史を大きく支えていただけたことを改めて感じます。
今年度2月11日には、30周年を記念した「社会福祉大会」予定しております。

社会福祉活動貢献者への表彰や福祉の作文発表など例年の内容に加えて、高石ともやさんのライブを行います。高石さんは、体操「元気ですたまき」の歌を作詞・作曲いただいた方です。

また、体操を構成していただいた平岡孝さんにもお越しいただきます。人と人をつなぎ、また健康につながる「体操」を皆さんと一緒に計画しています。

詳細については、社協だより次号でお知らせいたします。

是非、ご参加下さい。

今後も地域福祉の発展に努めて参ります。



元気です たまき委員会

ふだんのくらしのしあわせ

熊野古道ふれあいウォーキング 三玉城

熊野古道世界遺産登録10周年記念として、ふれあいウォーキングを開催します。(町健康しあわせ委員会・元気ですたまき委員会主催)
緑と歴史の息吹を感じながら歩いてみてください。あらたな発見があるかもしれません。

コースは、2コース(5kmもしくは2km)あります。歩きなれていない方でも、自分のペースで参加しやすくなっています。

ゴールでは、豚汁とぜんざいで皆さんを出迎えます。

是非、ご参加ください。

参加賞もあります。

開催日：11月8日(土)

5kmコース

(玉城町役場駐車場〜原 石佛庵前)

時間：午前9時30分〜11時30分

集合場所：玉城町役場駐車場

2kmコース

(外城田小学校駐車場〜原 石佛庵前)

時間：午前10時30分〜11時30分

集合場所：外城田小学校止門駐車場

(駐車場は、JA外城田支店、外城

田保育所の駐車場をご利用ください)
参加出来る方：どなたでも

(ただし、小学4年生以下のお子さんは保護者同伴でお願いします)

※ウォーキング終了後、外城田小学校駐車場と役場駐車場まで送迎バスが出ます。
参加申し込みは…

玉城町地域包括支援室

(保健福祉会館内)

電話 58-7373

(午前8時30分〜午後7時)

※代表者氏名・参加人数(大人・小学生以下の子どもの人数)・参加コースをお知らせください。

※当日参加も可能ですが、できる限り事前にお申し込みください。



原 石佛庵

活動報告

9月12日

(金)伊勢

中央ロータ

リーククラブ

の招きで、

元気ですた

まきの体操

を会員の

方々と一緒

にさせてい

ただく機会

をいただき

ました。

定例会の

「住まう地域社会の更なる理解を深める」企画の中で、玉城町を知ってもらおうということでの参加でした。

初めの説明を真剣に聞いていただくとともに、実演の方も見よう見まねながら、真剣に取り組んでいただき、汗をしっかりといていただきました。

防災・災害ボランティア活動報告

田丸小学校親子分団行事への協力

7月27日、朝8時から今年も夏休みの分団行事の中で防災活動を体験して



元気ですたまきの体操を行う会員

いただきました。

この活動も今年で3年目です。

4つの分団から90人を超える親子が参加されました。

今年のメニューは、ロープワークと身近なものを使った応急手当を行いました。ロープワークでは、ブルーシートを使ったテント作りの中で、ロープの使い方、結び方を学びます。少し難しい内容でしたが、あとからペットボトルを使い挑戦している親子連れもありました。また、アルファ米の試食や各自で持ち寄った防災リュックでのグッズ宛てビンゴなど、楽しく参加いただきました。お水で作ったアルファ米のご飯を「おいしい」と食べている子どもたちの声も聞かれ、親子で一緒に防災について考えるよい機会にしていたいただいていると感じました。



スーパーの袋を包帯代わりに応急処置

生活福祉資金貸付制度「教育支援資金」のご案内

教育支援式資金は一定の所得以下の世帯（生活保護世帯を含む）の世帯に對して、学校教育法に定められた高等学校、大学などへの進学や通学に必要な経費を無利子で貸付けるものです。

○教育支援資金の種類と貸付額

資金種類	貸付限度額	対象経費
教育支援費	・高等学校 月35,000円以内 ・専門学校 月60,000円以内 ・短期大学 月60,000円以内 ・大学 月65,000円以内	・授業料、施設整備費、部活動費、通学費、その他修学するのに必要な経費 ・入学時であれば「就学支度費」との重複貸付が可能です。
就学支度費	500,000円以内 (入学時のみ1回限)	・入学金、教科書、参考書、制服、体操着、靴、靴、通学用自転車等の経費

※すべて通信制または定時制課程を含みます。
※大学院、外国留学、専修学校の一般課程および本科1年課程は貸付対象とはなりません。

○貸付にあたっての条件

・卒業後の返済の意思を明確にしているいただきます。また借受け期間中、償還期

間中に社会福祉協議会及びお住まいの地域を担当する民生委員による支援を受けていただきます。

・実際に必要な金額から自己資金を除き、限度額の範囲とします。

・市（町）内に住んでおり、住民票もその住所にある世帯が対象です。

○償還（返済）について

・卒業後6ヶ月以内の据置期間の後、10年以内で償還していただきます。

・無利子ですが、期限内に償還が終了しない場合は、残っている元金に対して年利10・75%の延滞利子が加算されます。

○その他

・他制度が優先されます。（独立行政法人日本学生支援機構の奨学金や母子福祉資金の修学資金等の利用を優先）

・就学支度費以外は年間を通じて随時お申込みいただけますが、三重県社会福祉協議会での審査があり、2ヶ月間程を要する場合があります。
・世帯員が生活福祉資金貸付制度の連帯保証人になっている場合は貸付できません。

○相談窓口

玉城町社会福祉協議会
電話 586915

はっぴいサークル 2014 夏 開催



中村さんの指導でいばら饅頭づくり

今年度も障がいのある子ども達の長期休暇中の地域活動の場「はっぴいサークル」を夏休みに4回開催しました。今年度は、大人数で賑やかとなり、15名の子とも達が登録し、元気に参加してくれました。

活動は、実行委員会によって計画され、一日の中で体を動かす時間、創作活動や自分たちで調理し、食事をとるなど行いました。子どもたちは、それぞれに得手不得手がありますが、得意なことには集中して楽しんで取り組むことが出来ました。また、楽しみの一つになっているお

出掛けは、伊勢市横輪町へ出掛け。案内人の中村さんに散策や草笛、いばら饅頭づくりなど遊びの指導をしていただき、色々な体験をすることが出来ました。

民生委員の方をはじめ、活動にかかわるボランティアスタッフは、一緒に楽しむことで子どもたちに安心と見守りの安全を提供してくれています。

今後も、冬休み・春休みの活動を行う予定です。関心のある方は、お尋ねください。

語り継ぐ戦争体験 開催

8月9日（土）、終戦記念日を前に保健福祉会館で遺族会主催の語り継ぐ戦争体験が開催されました。

開催5年目を迎え、今年度は、落語家の桂竹丸さんをお招きし、戦争を題材にした創作落語をご披露いただきました。

舞台は、鹿児島県。特攻隊員とそれを見送る軍指定食堂のおばさんとの交流。その中で切ない別れが観客に戦争のものの悲しさを伝えました。

また、町内の遺族代表の方々が体験本に寄せられた体験談を語り、「戦争は二度と起こしてはならない」と力強く訴えて見えました。

10月1日 赤い羽根共同募金 街頭募金に協力のお礼

10月から全国一斉募金活動が展開され、自治区をはじめ、職場等各所で皆様にご協力頂いております。

初日の10月1日及び2日には、街頭募金を町内5か所で実施し、

39,702円

の募金が寄せられました。

通勤、通学中また買い物にいられた足を止めて、多くの方々にご協力いただき、ありがとうございました。

また、12月14日(日)には、「歳末たすけあい運動」の街頭募金を予定しております。

歳末で集められた募金は、ひとり暮らし高齢者安否確認事業(歳末事業)に活用されます。

あたたかいご支援、ご協力よろしくお願い致します。

※自治区のみなさまにご協力をお願いさせていただきます。後日改めて報告させていただきます。



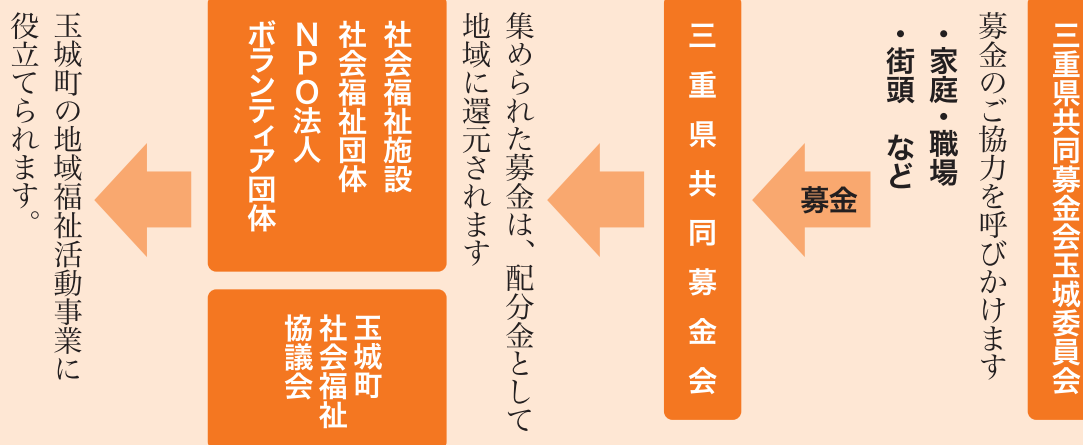
街頭募金で協力いただく様子(笑みの市)

共同募金の流れ

募金していただいたお金は、三重県共同募金会を通じて約70%が玉城町に配分され、ボランティア育成事業や一人暮らし高齢者への給食サービス、障がい者(児)の地域交流など町の福祉のために使われます。

また、残りの30%は、県域での活動や災害時の備えとして使われ、特に災害時には、地域を超えて被災された方々を支えあうしくみにもなっています。

平成26年度目標額
2,103,500円



UMOUプロジェクト 玉城町の地域福祉活動事業に役立てられます。

UMOUプロジェクトとは、羽毛製品を回収し、その羽毛の量などが十分なものを取扱い業者が買い取り、その金額が共同募金会に収められる「羽毛製品でも募金ができる」仕組みです。これは、明和町社会福祉協議会が中心となり、回収後の解体作業や選別作業を障がい者施設である「ありんこ」(明和町)が担い、明和町にある取扱い業者エコランド(株)が買い取りを行い、地域貢献につながっているものです。

対象になる羽毛製品は、羽毛布団・ダウンジャケット(但し、いずれもダウン率50%以上の製品に限ります)です。この取り組みは、三重県下全域が対象となり、羽毛製品を回収した市町の共同募金会へ募金として取り扱われ、地域で活かされる配分金となります。

玉城町社会福祉協議会事務所窓口で回収を行います。どうぞ、お持ちください。

受付時間…8時30分～17時30分
(土・日・祝日を除く)

第13回「玉城町社会福祉大会」開催 及び「しあわせを感じた時」の一行詩募集

開催日時：平成27年2月11日(祝・水)
13:00～16:00予定(雨天決行)

場 所：玉城町保健福祉会館
内 容：社会福祉功労者表彰等
・『福祉の作文』発表(小・中学生)
・福祉協力校の活動発表
・社協30周年福祉講演会 高石ともや氏ライブ



～「しあわせを感じた時」の一行詩を募集します～
あなたが“しあわせだ”と感じた時を教えてください。
いろいろなしあわせの形を共感し、その日常の大切さへの気づきやしあわせの
あり方について想いを寄せたいと思います。

- ★募集対象：小学4年生以上ならどなたでも（但し、町内在住・在勤者）。
応募作品は、**50文字以内**で本人が創作した未発表のものに限ります。
- ★応募方法：所定の場所に応募箱を設置しますので、応募用紙にて受付けます。
その他に、ハガキ・FAX・メールにても受付けます。
- ★募集期間：平成26年11月1日（土）～平成26年12月24日（水）
厳正な審査のうえ優秀作品を決定します。
入賞者には、平成27年2月11日（祝・水）の大会内で表彰いたします。
（記念品進呈）
- ★募集箱設置場所（町内7か所）
玉城町社会福祉協議会(玉城町保健福祉会館)・玉城町役場・アスパア玉城
中央公民館・玉城病院・グッディ・Aコープ

き り と り

『しあわせを感じた時の一行詩』 応募用紙

氏 名	住 所	電 話
作 品		
作品への 思い	(作品にあたっての思い、きっかけ等)	

※一行詩は、広報などで使用させていただくことがあります。記載された個人情報は、適正に管理し、「一行詩の募集」に関する連絡のみに利用させていただきます。

ボランティア養成講座 おもちゃドクター受講生募集

地域で何か活動がしてみたい。
活動する仲間がほしい。
働いていたことを活かしたい・細かい作業が得意…
そんなあなたに朗報です！
下記の内容を開催します。是非ご参加ください！



1回目(9月27日)の受講の様子

目的：今後の地域生活を充実していくための
仲間作り・活動のきっかけ作り

内容：『壊れたおもちゃを直してみましよう！ おもちゃドクターへの道』
※壊れたおもちゃを直す人を【おもちゃドクター】と言います。
おもちゃドクターになるには、講習を受講いただきます。

開催日：11月22日(土)～2月までの毎月第4土曜日(都合により変更になる場合もあります)
10:00～12:00

場所：鳥羽市保健福祉センターひだまり

講師：鳥羽おもちゃ病院会員 ※現地までは、同行いたします。

集合場所：玉城町保健福祉会館 集合時間 9:15

お問い合わせ：玉城町社会福祉協議会 (☎58-6915 中西)

ご寄附ありがとうございました。

パナソニックデバイス労働組合伊勢支部では、幾つかの収集ボランティア活動に取り組まれています。
集めたものを今回下記のようにご寄附いただきました。

- ・ベルマーク ⇒ 外城田小学校へ
- ・書き損じハガキ・使用済み切手
使用済みプリペイドカード
⇒公益法人ケア・インターナショナル ジャパン（発展途上国や紛争地域への支援）
- ・アルミプルトップ
⇒NPO法人たまき末芳園へ（町内障がい者作業所）

日本郵政グループ労働組合（JP労組）東海地方本部ユースネットワークから7月10日、福祉車両購入にと100万円の寄付をいただいたのをうけ、9月3日、軽車両の納車がありました。

今後、地域の福祉活動に使用していきます。



身近な社協相談窓口ご案内

心配ごと相談

毎月10日、20日、30日

13:00～15:00

玉城町保健福祉会館にて

予約不要

相談員：民生児童委員、人権擁護委員、
行政相談員

(7～9月)

元気バス募金箱・・・・・・・・・・ 82,361円